

メラサキューム MS-008 メンテナンスマニュアル

作成日 2007/1/30

臨床工学部

1. 外観チェック

本体に汚れがなく破損などがないこと。
ドレーンタンクの蓋の緩み、汚れ等がないこと。

2. 機能動作チェック

- ・電源コードを電源コンセントに差し込むと、「サキューム」表示が点灯すること。
- ・電源を入れると操作パネルの LED が全て点灯し、スタンバイ状態になること。
- ・電源投入直後に電磁弁の動作音が聞こえること。
- ・ロックスイッチを押すと、ロックスイッチ、一時消音スイッチ、ライトスイッチ以外のスイッチが操作不能になること。
- ・ライトスイッチを押す度にバックライトが点灯消灯を繰り返すこと。
- ・UP・DOWN スwitchを押すことで、設定吸引圧を 0～50cmH₂O まで任意に設定でき吸引ポンプが動作すること。また吸引圧を設定することで吸引圧表示が点滅から点灯に変わること。
- ・吸引圧力を-20cmH₂O に設定し、流量計にてポンプ吸引量を測定したとき 1.5L/min 以上であることを確認。新品時 3L 以上
- ・吸引圧力を-20・-45cmH₂O に設定し、点検用回路末端を閉塞して設定吸引圧まで吸引させたとき、デジタルマノメータの表示圧力はそれぞれ、-13.2～-16.1mmHg、-31.6～-34.5mmHg の範囲内であること。
- ・間欠吸引スイッチを押すことで、吸引時間表示 LED が「0 秒」で点滅し吸引時間スイッチを押すことで「0 分」に切り替わること。
- ・上記状態で約 5 秒後に休止時間表示 LED は消灯すること。
- ・間欠吸引動作を行うこと。
- ・吸引圧を-50cmH₂O に設定し点検用回路末端を閉塞して設定吸引圧まで吸引させ、閉塞した接続口を徐々に開放し吸引圧が設定吸引圧の 50%以下に降下したとき、回路リーク LED が表示されること。
- ・上記状態から 10±5 秒後、回路リーク警報が発生すること。
- ・上記状態で一時消音スイッチを押すと、10±5 秒後ブザーが発生すること。
- ・上記状態で再度ブザーが発生したときに、消音スイッチを押すことで継続してブザーを停止すること。
- ・上記状態から消音スイッチを押すと、再度ブザーが発生すること。
- ・上記状態から点検用回路末端を再度閉塞し、吸引圧が設定吸引圧の 50%以上に復帰したとき、回路リーク LED が消灯し、警報が停止すること。
- ・商用電源で運転中に電源コンセントから電源コードを引き抜いたとき、操作パネルの「サキューム」表示器が消灯、バッテリー運転表示器が点灯し、サキュームは運転を継続していること。